令和６年度　筆答試験（専門）養護教諭

校種・教科等	＜養護教諭＞
（コード）	４００

受験番号						

《解答上の注意》

1　上欄に「受験番号」を記入しなさい。

2　マークシートの所定の欄に、「校種・教科等」、「受験番号」、「名前」を記入し、「校種・教科等コード」、「受験番号」をマークしなさい。

3　試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。

4　解答番号 [1] ～ [55] に対応するマークシートの解答欄（１～55）に、Ｂ又はＨＢの鉛筆で答えをマークしなさい。一つの解答欄にマークできるのは１カ所のみです。

5　訂正するときは、プラスチック消しゴムで完全に消しなさい。

6　マークシートは汚したり、折り曲げたりしてはいけません。

7　終了の合図で解答を止め、筆記用具を置きなさい。表紙を上にして問題冊子を閉じ、その上にマークシートを重ねて置いて監督者の指示を待ちなさい。

表記について

問題文中に、「障害」という言葉が単語あるいは熟語として用いられ、前後の文脈から人や人の状況を表す場合に「障がい」という表記を使用しています。

ただし、法令や固有名称、引用文については、そのまま表記しています。

1

次の文は、「中学校学習指導要領」（平成29年3月告示）「第2章　各教科」「第7節　保健体育」「第2　各学年の目標及び内容」「保健分野」「2　内容」からの抜粋である。文中の［1］～［5］に当てはまる語句として正しいものを①～⓪の中からそれぞれ一つ選びなさい。

（2）心身の機能の発達と心の健康について，課題を発見し，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　心身の機能の発達と心の健康について理解を深めるとともに，ストレスへの対処をすること。

(ｱ)　身体には，多くの器官が発育し，それに伴い，様々な機能が発達する時期があること。また，発育・発達の時期やその程度には，［1］があること。

(ｲ)　思春期には，［2］の働きによって生殖に関わる機能が成熟すること。また，成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要となること。

(ｳ)　知的機能，情意機能，社会性などの［3］機能は，生活経験などの影響を受けて発達すること。また，思春期においては，自己の［4］が深まり，自己形成がなされること。

(ｴ)　［3］と身体は，相互に影響を与え，関わっていること。［5］やストレスは，心身に影響を与えることがあること。また，心の健康を保つには，［5］やストレスに適切に対処する必要があること。

①　環境	②　精神	③　欲求	④　生理	⑤　脳下垂体
⑥　認識	⑦　個人差	⑧　適応	⑨　内分泌	⓪　男女差

2

次の文は、「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン　令和元年度改訂」（令和２年３月　公益財団法人　日本学校保健会）「第２章　疾患各論」「１．食物アレルギー・アナフィラキシー」「アナフィラキシーとは」に示されている定義からの抜粋である。文中の［ 6 ］～［ 9 ］に当てはまる語句として正しいものを①～⑧の中からそれぞれ一つ選びなさい。

［ 6 ］により、じんましんなどの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、ゼーゼー、呼吸困難などの呼吸器症状が、複数同時にかつ急激に出現した状態をアナフィラキシーと言います。その中でも、［ 7 ］が低下して意識の低下や脱力を来すような場合を、特にアナフィラキシーショックと呼び、［ 8 ］対応しないと生命にかかわる重篤な状態であることを意味します。

また、アナフィラキシーには、［ 6 ］によらず［ 9 ］や身体的な要因（低温/高温など）によって起こる場合があることも知られています。

① 体温	② 脈拍	③ 血圧	④ アレルギー反応
⑤ 運動	⑥ 慎重に	⑦ 直ちに	⑧ 環境

3

次の文は、「『生きる力』を育む学校での歯・口の健康づくり　令和元年度改訂」（令和２年２月公益財団法人　日本学校保健会）「第２章　歯・口の健康づくりの理論と基礎知識」「第５節　歯・口の外傷とその予防」「２　歯・口の外傷の予防と応急処置」からの抜粋である。文中の［10］～［15］に当てはまる語句として正しいものを①～⓪の中からそれぞれ一つ選びなさい。

（２）応急手当

① ［10］骨折の場合は重篤な症状となるので，できるだけ動かさずに歯科口腔（くう）外科に搬送する。

② 歯の脱臼はできる限り早急に歯科医療機関で再植する。この際，［11］部を持つように注意し，［12］を持たないようにする。再植を可能とするには，［12］周囲の組織が必要なので，［12］には手を触れないことが原則となる。泥などで汚れた場合も洗いすぎない，こすらないようにする。また，乾燥させたり水につけたりするとおおむね［13］分程度しか再植可能時間がないといわれる。直ちに対応できないときは乾燥させないよう「市販の保存液」，あるいは「［14］」に保存して，可及的速やかに歯科医療機関を受診する。

③ 歯の陥入は，止血処置を優先して歯科医療機関へ行く。

④ 歯の破折は，［15］が見えるようなら直ちに歯科医療機関に行く。

① 象牙質	② 歯冠	③ 牛乳	④ 歯髄	⑤ 歯槽骨
⑥ 顎骨	⑦ 食塩水	⑧ 歯根	⑨ 15	⓪ 30

4

次の表は、「児童生徒等の健康診断マニュアル　平成27年度改訂」（平成27年8月　公益財団法人　日本学校保健会）「第1章　児童、生徒、学生及び幼児の健康診断の実施」「5　方法及び技術的基準」「6　眼の疾病及び異常の有無」「表5　学校における健康診断で対象となる主な眼科所見名の説明」からの抜粋である。文中の［16］～［19］に当てはまる語句として正しいものを①～⑧の中からそれぞれ一つ選びなさい。

所見名	内容と説明
①結膜炎	・細菌性とウイルス性に大別されます。 ・ウイルス性のものは感染性があり、ほとんどが接触感染で出席停止が必要です。 ・充血、流涙、痛み、目やになどの症状も強く、発熱や［16］を伴うこともあります。
②アレルギー性結膜炎	・目のかゆみ、充血、目やになどの症状のほかに、まばたき、［17］、視力低下などの症状があります。
③眼瞼炎	・目の周囲のただれ、かぶれ、［18］、切れなどで、かゆみ、痛みを訴えます。
④内反症	・さかまつげのことです。 ・［19］を訴えて、よく目をこすります。 ・角膜（くろめ）が傷つくことがあり、症状が強い場合は、手術が必要な場合があります。
⑤麦粒腫	・まぶたの急性の細菌感染です。 ・ひどくなると、眼の周囲に感染が広がっていくことがあります。
⑥霰粒腫	・まぶたの慢性肉芽腫性炎症です。 ・麦粒腫と似ていますが、炎症が治まっても、しこりが残ることが少なくありません。
⑦眼位の異常	・斜視（常にどちらかの目が斜めを向いている）と、斜位（通常は両眼ともに正常であるが、視線をさえぎられた目が斜めを向く）に大別されます。 ・眼鏡でもコンタクトレンズでも視力が出にくいこともあり、詳しい検査が必要です。

①　かさつき	②　疲れ	③　まぶしさ	④　異物感
⑤　腫れ	⑥　のどの痛み	⑦　かすみ	⑧　熱感

5

次の文は、「学校検尿のすべて　令和２年度改訂」（令和３年３月　公益財団法人　日本学校保健会）「第３章　腎臓と子供の腎臓病の特徴」「1. 腎臓の位置とかたち、はたらき」からの一部抜粋である。文中の［ 20 ］～［ 24 ］に当てはまる語句として正しいものを①～⓪の中からそれぞれ一つ選びなさい。

腎臓は体の中でも腰のあたりの背骨のほぼ隣に左右１つずつあります。ソラマメに似た楕円形をしていて、大きさは大人で縦［ 20 ］cm、横 5.5 cm、厚さ３cmくらいです。生まれたばかりの乳児の腎臓は縦４cmくらいの大きさですが、体の成長にともなって腎臓のサイズも大きくなっていきます。

腎臓には糸球体とよばれる小さな［ 21 ］装置が 1 つの腎臓に対して［ 22 ］万個くらいずつあり、血液中の老廃物を尿中に出す働きをしています。腎臓はそれ以外にも体の中の水分や［ 23 ］を一定に保つバランスをとる働きをしたり、［ 24 ］を一定に保つためにホルモンを出したり、血液をつくるためのホルモンを出したり、多くの大切な働きをしています。

① ミネラル	② 濃縮	③ 代謝	④ 血圧	⑤ ろ過
⑥ 体温	⑦ 11	⑧ 21	⑨ 100	⓪ 250

6

次の文は、「精神疾患に関する指導参考資料　新学習指導要領に基づくこれからの高等学校保健体育の学習」（令和３年３月　公益財団法人　日本学校保健会）「Ⅲ　教職員のための精神疾患に関するＱ＆Ａ」からの一部抜粋である。（１）～（４）の説明に当てはまる精神疾患名として最も適切なものを①～⑨の中からそれぞれ一つ選びなさい。

（１）　気分の落ち込み，ほとんど全ての活動へのやる気の喪失が主な症状です。
日本人での生涯有病率は約６％，つまり約 15 人に１人が罹患する病気です。

25

（２）　体型と体重に対する極端なこだわりや，体重増加への極度の恐怖を持つのが特徴です。
ごくわずかしか食べない，あるいは大量に食べて吐くを繰り返す，下剤などの乱用や過度な運動を続けるといった食行動上のトラブルが見られます。

26

（３）　「悪口が聞こえてくる」などの幻覚（幻聴）や「いつも見張られている」といった妄想が特徴的な症状です。普段はあるはずの意欲や生き生きとした感情が乏しくなる場合もあります。

27

（４）　本人や身内が病気になるのではないか，などの恐怖が様々な心配事や不吉な予感とともに，動悸・発汗・震えなどの身体の症状が伴うことがあります。人前で過剰に緊張したり，避けたり，赤面や手の震えを訴える人もいます。

28

①　依存症	②　うつ病	③　不安症
④　強迫性障害	⑤　摂食障害	⑥　双極性障害
⑦　統合失調症	⑧　パーソナリティ障害	⑨　ＰＴＳＤ

7

次の表は、「学校において予防すべき感染症の解説 〈平成 30（2018）年３月発行〉」（平成 30 年３月　公益財団法人　日本学校保健会）「Ⅲ．感染症各論」からの一部抜粋である。感染症に関する説明として適切なものを①～⑨の中から三つ選びなさい。ただし、解答の順序は問わないものとする。

29	30	31

	感染症	説明
①	百日咳	病初期から、連続して止まらない咳が特徴で、発熱することが多い。
②	麻しん	感染力が最も強いのは、発しん期である。
③	流行性耳下腺炎	全身の感染症だが耳下腺の腫脹が主症状で、顎下腺や舌下腺などは腫れない。
④	風しん	淡紅色の発しん、発熱、耳後部～頸部のリンパ節の腫脹と圧痛を訴える疾患である。
⑤	水痘	発しんは体と首のあたりから顔面に生じやすく、発熱を認めることが多い。発しんは紅斑、水疱、膿疱、かさぶたの順に変化する。かゆみや疼痛を訴えることもある。
⑥	感染症胃腸炎	嘔吐と下痢が突然始まることが特徴の疾患である。ウイルスによる腸管感染症が多い。ノロウイルス感染症とロタウイルス感染症は秋～冬に多い。
⑦	マイコプラズマ感染症	咳を主症状とし、学童期以降のウイルス性肺炎としては最も多い。夏から秋にかけて多く、家族内感染や再感染も多くみられる。
⑧	ヘルパンギーナ	主として咽頭、口腔内粘膜に水疱、潰瘍を形成するのが特徴の熱性疾患である。
⑨	伝染性膿痂疹	黄色ブドウ球菌などの皮膚感染によって、紅斑、水疱、びらん及び厚い痂皮ができる疾患。春期に多く、乳幼児に好発する。

8

次の表は、「学校環境衛生管理マニュアル『学校環境衛生基準』の理論と実践［平成30年度改訂版］」（平成30年　文部科学省）「第Ⅱ章　学校環境衛生基準」「第１　教室等の環境に係る学校環境衛生基準」からの一部抜粋である。教室等の環境の検査項目とその方法に関する記述として最も適切なものを①～⑤の中から一つ選びなさい。

32

	検査項目	方　法
①	換気	二酸化炭素は、検知管法により測定する。
②	温度	1.0度目盛の温度計を用いて測定する。
③	一酸化炭素	ザルツマン法により測定する。
④	二酸化窒素	検知管法により測定する。
⑤	照度	教室の照度は、床上75cmの水平照度を測定する。

9

次の表は、「保健室経営計画作成の手引　平成26年度改訂」（平成27年2月　公益財団法人　日本学校保健会）「3　保健室経営計画の作成」「(1)　学校保健計画と保健室経営計画」からの抜粋である。 33 ～ 37 に当てはまる語句として正しいものを①～⑨の中からそれぞれ一つ選びなさい。

	学校保健計画	保健室経営計画
推進者	33 ＊役割分担して組織的に活動を推進	34 が中心
特徴	・学校保健活動の年間を見通して、「保健教育」「保健管理」「組織活動」の3領域について立てる総合的な基本計画 ・ 35 計画 ・ 36 の評価に位置付け、評価を実施	・ 37 等を踏まえた上で、保健室経営の目標に対して、計画的、組織的に運営するための計画 ・ 34 の職務（役割）と保健室の機能を踏まえた計画 ・ 35 計画 ・保健室経営目標に対する評価を実施

① 学校経営	② 管理職	③ 教育目標	④ 全教職員
⑤ 単年度	⑥ 長期	⑦ 養護教諭	⑧ 保健主事
⑨ 保健目標			

10

次の文は、「保健室利用状況に関する調査報告書　平成28年度調査結果」（平成30年2月　公益財団法人　日本学校保健会）「第4章　保健室利用状況に関する調査のまとめと考察」「Ⅰ　まとめ」「2　児童生徒の保健室利用状況」からの抜粋である。文中の［ 38 ］～［ 42 ］に当てはまる語句として正しいものを①～⓪の中からそれぞれ一つ選びなさい。

（1）　小学校・中学校・高等学校ともに、学年が上がるにつれて保健室利用者が増加する傾向にあった。また、性別では［ 38 ］より利用が多く、前回調査と同様であった。

（2）　大規模校(500人以上)における、1日平均の保健室利用者数は、小学校・中学校・高等学校とも、養護教諭の複数配置校の方が1人配置校より多かった。

（3）　保健室利用者の来室時間帯は、すべての学校種で「［ 39 ］」小学校26.5%、中学校31.3%、高等学校25.1%が最も多く、次いで「［ 40 ］」小学校20.4%、中学校22.1%、高等学校22.6%であった。また、始業前や放課後の保健室利用も多く、前回調査と同様であった。

（4）　来室理由は、小学校では「［ 41 ］」35.7%、中学校・高等学校では「［ 42 ］」中学校21.8%、高等学校25.7%が最も多く、前回調査と同様であった。

① 給食・昼休み	② 先生と話をしたい	③ けがの手当て	④ 午後授業中
⑤ 午後休み時間	⑥ 午前休み時間	⑦ 女子が男子	⑧ 体調が悪い
⑨ 男子が女子	⓪ なんとなく		

11

次の文は、「薬物乱用防止教育の充実について（通知）」（平成30年12月　事務連絡　文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課）「『第五次薬物乱用防止五か年戦略』における留意事項」からの一部抜粋である。文中の［43］～［47］に当てはまる語句として正しいものを①～⓪の中からそれぞれ一つ選びなさい。

1．学校における薬物乱用防止教育は、小学校の体育科、中学校及び高等学校の保健体育科、特別活動の時間はもとより、［43］、総合的な学習の時間等の学校の教育活動全体を通じて指導を行うこと。
2．児童生徒が、薬物乱用の危険性・有害性のみならず、薬物乱用は、好奇心、投げやりな気持ち、過度の［44］などの心理状態、断りにくい人間関係、宣伝・広告や入手しやすさなどの［45］環境などによって助長されること、また、それらに適切に対処する必要があることを理解できるようにするため、指導方法の工夫を行うこと。
3．薬物乱用防止教室は、［46］に位置付け、すべての中学校及び高等学校において年［47］回は開催するとともに、地域の実情に応じて小学校においても開催に努めること。

① ストレス	② 家庭	③ 社会	④ 1
⑤ 3	⑥ 学校教育計画	⑦ 学校保健計画	⑧ 課外活動
⑨ 疲れ	⓪ 道徳		

12

次の文は、「がん教育推進のための教材」（令和３年３月一部改訂　文部科学省）「１　がんという病気」からの抜粋である。文中の [48] ～ [55] に当てはまる語句として正しいものを①～⓪の中からそれぞれ一つ選びなさい。

（２）がんの主な要因

[48] のがんの約 50%，[49] のがんの約 30%は，[50] や大量の [51]，不適切な食事，[52] 不足といった [53] や，細菌・ウイルスなどの感染が要因と考えられています。がんには，原因がわかっていないものも多く，まれに [54] が関与しているものもあり，がんになった人が皆，[53] を原因とするわけではありません。望ましい [53] を送ることにより，がんにかかる [55] を減らすことができます。また，少数ですが，子供がかかるがんもあります。小児がんは，[53] が原因となるものではありません。がんについては，その原因の解明や，予防や治療の方法などの研究が進められています。

① 遺伝	② 飲酒	③ 運動	④ ストレス	⑤ 喫煙
⑥ 睡眠	⑦ 女性	⑧ 生活習慣	⑨ 男性	⓪ リスク

— 以上 —

令和６年度三重県公立学校教員採用選考試験 筆答試験（専門）

養護教諭		

問題番号	解答番号	正答	配点	備考
1	1	⑦	2	
	2	⑨	2	
	3	②	2	
	4	⑥	2	
	5	③	2	
2	6	④	2	
	7	③	2	
	8	⑦	2	
	9	⑤	2	
3	10	⑥	1	
	11	②	1	
	12	⑧	1	
	13	⓪	1	
	14	③	1	
	15	④	1	
4	16	⑥	2	
	17	③	2	
	18	①	2	
	19	④	2	
5	20	⑦	2	
	21	⑤	2	
	22	⑨	2	
	23	①	2	
	24	④	2	
6	25	②	3	
	26	⑤	3	
	27	⑦	3	
	28	③	3	
7	29	④	2	
	30	⑤	2	順不同
	31	⑧	2	
8	32	①	2	
9	33	④	2	
	34	⑦	2	
	35	⑤	2	
	36	①	2	
	37	③	2	
10	38	⑦	2	
	39	⑥	2	
	40	①	2	
11	41	③	2	
	42	⑧	2	
	43	⓪	2	
	44	①	2	
	45	③	2	
	46	⑦	2	
	47	④	2	
12	48	⑨	1	
	49	⑦	1	
	50	⑤	1	
	51	②	1	
	52	③	1	
	53	⑧	1	
	54	①	1	
	55	⓪	1	